

### 高島病院対策特別委員会

委員長 柴原 忍

#### ◆公立高島総合病院の建設計画を審議

高島総合病院にかか  
る「経営と施設のあり  
方」の調査、研究のた  
め4月10日に委員会を  
開催しました。委員会  
では、執行部から2月  
に行った建設予定地周  
辺のプレボーリング調  
査の結果や検討中の建  
物配置計画についての  
説明を受けました。

委員会では、調査結  
果で地盤に一定の支持  
層が確認できたものの、  
複数個所のボーリング  
調査を早期に実施し、  
地盤に問題がないこと  
を立証されたい旨意見  
を示しました。また、  
建物の配置計画を決め  
るにあたり、大溝城跡  
史跡の保存やアクセス  
道路、建物階層などい  
ろいろな角度から検討  
されている状況が報告  
されました。

5月8日に福井県小  
浜市の「公立小浜病院」  
において行政視察研修  
を行いました。

#### ◆行政視察研修報告

公立小浜病院は、平  
成16年度から19年度に  
かけ108億円を投じ  
て、救命救急センター  
や高度医療機器を備え  
た450床の病院とし  
て再整備されました。  
これにより高度医療を  
求めて市外に流出して



福井県小浜市 公立小浜病院

いた市民の医療ニーズ  
に応える努力をされ、  
併設の高等看護学校に  
おいても看護師の育成  
や確保に力を入れられ  
ている現状を視察しま  
した。

院も例外ではない状況  
を目の当たりにし、病  
院経営や医師・看護師  
確保対策、隣接市とし  
ての救急患者の搬送等  
について連携を図るこ  
となどについて意見を  
交わしました。また、  
病棟や高度医療機器の  
ほか、構造体の免震構  
造を視察し災害対策と  
安全性を確認しました。

### 交通対策特別委員会

委員長 里田 治

#### ◆JRダイヤ・バス路線のより良い改善に向け協議

4月9日に委員会を  
開催し、市当局から、  
去る3月に実施された  
JRのダイヤ改正、  
滋賀大学との路線バス  
共同研究事業（聞き取  
り・アンケート調査）  
の結果、JR京都支社  
長との意見交換会の3  
点の報告を受けました。  
ダイヤ改正について  
は、定住者の増加を図  
る上で重要な事  
項で、改良は見  
られるものの、  
まだまだ納得で  
きるものでなく、  
市民のみなさま  
のご意見を十分  
拝聴し、県・J  
R側に強く働き  
かける必要があ  
ると感じました。  
バス体系につ  
いては、大学と  
の共同研究事業



設置工事が進む湖西線暴風壁

※ボーリング……地質調査などのために地中に細く深い穴を掘ること

### 行財政改革特別委員会

委員長 宮内 英明

#### ◆マキノ・ドームの今後の方向は、6月中旬に議会へ報告

当委員会は去る5月  
26日に、平成19年度の  
経営改革実施計画の実  
績と平成20年度の取り  
組み計画等について、  
調査研究を行うため会  
議を開きました。執行  
部からは、平成21年度  
に支所から本庁へ移行  
しようとする15業務に  
ついて、現在内部にお  
いて協議中であり、平  
成19年度の取り組み実  
績では、遊休土地の売  
却目標額5千万円に対  
して1億2千2百万円  
となっていることや職  
員数については、平成  
17年度から平成20年  
度までの職員削減目標  
数が96人に対して108  
人の見込みであること  
が報告されました。委  
員からは、主に次のよ  
うな質問や意見があり  
ました。

#### 6月中旬に議会へ報告

- ① 指定管理施設にお  
ける自動販売機の設置  
業者について、どの  
ような見直しが行な  
われたのか。
  - ② マキノ・ドームの  
今後のあり方とその  
方向は。
  - ③ 遊休土地を若者定住  
の対策として活用し  
てはどうか。
- 執行部からは、
- ① 公平性の観点から市  
内業者を対象に公募  
し、5年契約に改め  
た。
  - ② 今後の方向について  
内部協議を進めてい  
るところであり、6  
月中旬に、その方向性  
を議会に報告する。
  - ③ 若者定住の促進につ  
いては、市の総合的  
な施策として進める  
必要があるため、別  
の支援で考えていき

### 新庁舎建設対策特別委員会

委員長 水田 善昭

#### ◆行政視察研修報告

去る5月27日、28日  
の両日、新庁舎建設の  
諸課題に対応すべく、  
最近新庁舎を建築され  
実際に運営を開始され  
た岡山県井原市と、現  
在建築中の兵庫県宍粟  
市を訪問し視察研修を  
実施しました。

井原市は、17年3月  
に1市2町が合併され、  
人口は4万5千人、総  
面積24.3km<sup>2</sup>の市です。  
合併前の平成15年7月  
に新庁舎約1万m<sup>2</sup>を30  
億円で建設されていま  
す。旧庁舎は昭和30年  
代に建築された木造庁  
舎で、老朽化が著しく  
市政施行50周年の記念  
事業として庁舎建設を  
早くから計画され、公  
共施設整備基金の計画

たい。  
との答弁がありました。  
他にも、多くの貴重  
な意見等がありました  
ことを申し添えまして、  
委員長報告とします。



建設中の宍粟市庁舎



的積立により、建設  
時には45億円を保有し、  
うち29億円を取り崩し、  
後年度負担をさせない  
として、借入金なしで  
建設をされております。  
堅実な財政運営のもと、  
新庁舎は特に華美なも  
のではありませんが、  
市民サロンや環境に配  
慮した設備、災害時の  
拠点施設としての機能  
を備えるなど、当市が  
求める機能も多く採用  
されておりました。

一方、宍粟市は、17  
年4月に4町が合併さ  
れ、人口4万4千人、  
総面積65.8km<sup>2</sup>の市で  
す。合併合意で特別債  
の活用が可能な10年以  
内としていた建設を、  
財政状況の悪化や施設

では、堅実な財政運営  
のもと計画的な基金を  
積立し、目標を明確に  
すること。また新庁舎  
建設より、経費削減効  
果や行政運営の効率化  
等について、市民に対  
する丁寧な説明を行う  
こと。加えて、30億円  
前後で相当規模の施設  
が建設できることが改  
めて確認できたと感じ  
ております。この研修  
をもとにさらに庁舎問  
題を調査研究し、一定  
の道筋をつけたいと考  
えております。